

横須賀市立市民活動サポートセンター

2021 年度 事業報告

■概要

YMCA コミュニティサポートは 2021 年度、横須賀市立市民活動サポートセンターと三浦市民交流センターの指定管理者として、市民の公益活動の場を提供し、三浦半島地域の市民活動支援を行った。

コロナ禍の中、施設の運営は新しい生活様式にのっとり、必要な制限を行いながら、安心して施設を利用してもらえるよう工夫をしながら行った。また、市民活動支援の企画は中止を余儀なくされたものもあったが、オンラインツールを取り入れながら支援の提供を行った。

■事業報告

1. 公益活動に資する管理運営事業

◆横須賀市立市民活動サポートセンター管理運営事業

4 月に新たな常勤職員を迎え、6 月に 1 名定年退職などの人事異動があり、新たな体制での運営となった。まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発出に伴い、開館時間やスタッフの対応時間が変動したが、利用者への周知に努め丁寧に対応することで、トラブルなく運営することができた。指定管理の更新にあたり、プレゼンを行い審査を受け、来季の指定管理者として選定された。

(1) 施設管理業務

- 4 月 利用人数の制限（定員の 50%）を継続しているので、例年に比べたら半数の利用者数ではあるが、徐々に活動が戻ってきた。
- 5 月 横須賀市のまん延防止等重点措置の発令により、12 日から 20 時までの時間短縮運営となった。
- 6 月 20 日まで時間短縮、21 日より通常運営となった。ベイスクエアよこすかと合同の消防訓練を行い、非常持ち出し袋の点検や避難における段取りの確認を行った。
入口ドアのフランス錠が不具合となったため、修繕を行った。
- 7 月 22 日より再びまん延防止等重点措置が発令され、開館時間が 20 時までとなった。
- 8 月 神奈川県緊急事態宣言発出に伴い、14 日より臨時休館となった。スタッフは 18 時まで常駐し、ロッカーやレターケースを利用する団体や各種申請を行う団体の対応に対応した。
- 9 月 27 日より施設が再開したが、開館時間は 18 時までとなった。自動ドア側の看板の文字が破損していた部分の修繕を行った。
- 10 月 9 月 26 日まで緊急事態宣言による臨時休館が約 2 か月続き、開館後も 18 時までの時短運営だったが、10 月 1 日よりようやく 22 時までの通常開館となった。
- 11 月 コロナの感染状況が落ち着いてきて、センターの利用も少しずつ増えてきた。職員全員による防災訓練を行い、発災時の避難誘導の手順を確認した。
- 12 月 徐々に活動が戻ってきて、利用者数も微増した。ベイスクエア全体の避難訓練に、職員が参加した。
- 1 月 1 月 19 日よりまん延防止等重点措置が適用となったが、センターは通常運営となっていた。イベント等も中止の指示がなかったので、事業は予定通り行った。地域支援赤十字奉

仕団の協力で、スタッフの AED 研修を行った。入口風除室の壁紙の修繕を行った。

2月 2年ぶりにのたろんフェアを開催することができた。感染防止対策のため、入場制限を行うなどの措置を講じたが、混乱なく開催できた。

3月 オンラインやハイブリッドで幾つかのイベントを開催し、市民活動支援に資することができた。

館内の照明器具で不具合のある部分を LED 照明器具に交換した。省エネや SDG s の観点からも、今後も器具交換の際は LED 器具に交換していきたい。

<利用者数推移>

4月 2,480名（前年度比 1,097%）

※2020年4月～6月は緊急事態宣言発令により休館。

5月 1,687名（前年度比 1,041%）

※5月12日よりまん延防止等重点措置発令のため開館時間 20時まで。

6月 1,680名（前年度比 971%）

※6月21日よりまん延防止等重点措置解除のため開館時間 22時までに戻る。

7月 1,535名（前年度比 99%）

※7月22日よりまん延防止等重点措置発令のため開館時間 20時まで。

8月 829名（前年度比 51%）

※8月14日より緊急事態宣言発令により休館。

9月 337名（前年度比 13%）

※9月26日まで緊急事態宣言発令により休館。30日まで開館時間 18時まで。

7月 1,535名（前年度比 99%）

※7月22日よりまん延防止等重点措置発令のため開館時間 20時まで。

8月 829名（前年度比 51%）

※8月14日より緊急事態宣言発令により休館。

9月 337名（前年度比 13%）

※9月26日まで緊急事態宣言発令により休館。30日まで開館時間 18時まで。

10月 1,881名（前年度比 78%）

11月 2,142名（前年度比 104%）

12月 1,674名（前年度比 102%）

1月 1,443名（前年度比 327%）※昨年度は1月12日より臨時休館

2月 1,120名（前年度比 612%）※昨年度は全日臨時休館

3月 1,993名（前年度比 131%）※昨年度は3月7日まで臨時休館

合計 18,801名（前年度比 129%）

（2）情報収集提供業務

①2021年度広報実績

ア. 活動団体のチラシ等の配架（845件）

イ. みんなの掲示板、何でもインフォメーションへのポスター掲出（251件）

ウ. 活動紹介コーナーの展示団体コーディネート

（センターエリア 17件、フロントエリア 14件）

エ. ラジオ出演団体コーディネート（FMブルー湘南）（14件）

オ. ネット情報配信 毎月5日（メールマガジン「のたろんメール」）（511通）

- カ. のたろん通信（毎月 A4 表裏）、情報誌のたろん（年 4 回 4 ページ）の発行（3,000 部）
- キ. ボランティア情報冊子の発行（1200 部）
- ク. SNS での情報発信（Facebook、Twitter、YouTube）
- ケ. のたろん WEB（横須賀市立市民活動サポートセンター公式 HP）の改修

②利用者アンケートの実施

利用票の裏面の「利用者の声」欄にて利用者のご意見、ご要望を収集。ご要望については、指定管理者からの回答をセンターの HP に掲載するとともに館内に掲示している。

- 4 月 ご意見 2 件 ご要望 3 件
- 5 月 ご意見 4 件 ご要望 2 件
- 6 月 特になし
- 7 月 特になし
- 8 月 ご要望 1 件
- 9 月 ご要望 1 件
- 10 月 ご意見 8 件 ご要望 1 件
- 11 月 ご意見 7 件 ご要望 1 件
- 12 月 ご意見 12 件 ご要望 特になし
- 1 月 ご意見 4 件 ご要望 1 件
- 2 月 ご意見 7 件 ご要望 特になし
- 3 月 ご意見 10 件 ご要望 1 件

（3）相談業務

①上級、専門的な相談

- ア. 法人立ち上げについての相談
- イ. 市の各課からの相談
- ウ. 県大教授からの支援依頼の相談 等

②各種相談会の開催

登録団体の協力を得て、様々な分野の相談会を開催した。（それぞれ月 1 回）

- ア. まちの保健室（よこすかまちの保健室プロジェクト）
- イ. 介護相談会（神奈川県介護福祉士会 三浦横須賀支部）
- ウ. いまさら相談室（認定 NPO 法人産業クラスター研究会）
- エ. 横須賀知恵袋（土業集団 横須賀知恵袋）

（4）連絡調整業務

（主たる連絡調整先）

- ①横須賀市役所 各部署
- ②中間支援組織生涯学習センター、ボランティアセンター、シルバー人材センター）
- ③支え合い協議会第一層会議体
- ④県立保健福祉大学地域貢献連絡会
- ⑤よこすか人社プロジェクト
- ⑥商工会議所、産業振興財団
- ⑦商店街（ダウントウクラブ、本町商店会など）
- ⑧よこすか子育て応援ネットワーク、よこすか三浦子ども食堂・地域食堂ネットワーク
- ⑨三浦半島の NPO 支援施設（逗子市交流センター）

⑩横須賀災害ボランティアネットワーク

(5) 自主事業

サポートセンターの目的に合致した事業を独自の財源で行った。

①大型印刷物出力サービス

【内容】大型印刷機でA1や長尺の大きな印刷物の請負印刷を行った。

【成果】56団体利用（収入 136,000円）

②中ロッカーの設置、一時預かりサービス

【内容】団体の年契約のロッカーと一時預かりのサービスを提供した。

【成果】年貸ロッカー 11団体利用。（収入 39,600円）

一時預かりサービス 23件利用。（収入 11,950円）

③印刷機設置及びコピー用紙等消耗品販売

【内容】印刷機等を設置して利用者に提供。また、コピー用紙やラミネーターフィルムを販売提供した。

【成果】コピー機（収入 257,760円）

印刷機（収入 790,640円）

用紙等販売（収入 189,040円）

④パソコン講座

【内容】市民活動のために必要なパソコンのスキルアップ講座を提供。情報化支援団体の協力を得てボランティア講師を派遣してもらっている。

【成果】122回のべ201名受講（収入 333,100円）

⑤印刷代行サービス

【内容】センターの休館中、団体が必要な印刷物の印刷の代行を請け負った。

【成果】8月14日（土）～9月26日（日）28団体

印刷枚数 16,595枚 製版枚数 162枚（収入 48,900円）

2.公益活動に資する支援事業

1) ボランティア・市民活動人材育成事業

(1) ぽぴーぐみ活動支援

【内容】汐入駅周辺と横須賀中央駅周辺での清掃活動、定例会の開催、のたろんフェアへの参加

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】毎月1度の活動（4/18、5/16、6/13、7/18、10/17、12/11）。状況によりサポートセンターでの開催またはオンライン開催。登録者4名。

(2) 県立保健福祉大学 ボランティア市民活動論授業コーディネート

【内容】昨年に引き続き、県立保健福祉大学の「ボランティア市民活動論」の授業がオンラインとなり、当センターに授業のコーディネートが依頼された。

コロナ禍で今できる活動を学生自身が考え行動できるように、また、終息後すぐに活動に活かせるようにボランティア・市民活動の理解を深める内容を提供した。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】全 14 回の講義のうち 6 回をコーディネート。

先輩学生にも出演してもらい、身近な活動の紹介ができた。ボランティアの中間支援施設の紹介も行った。平均受講生数 67 名。

紹介機関：よこすかボランティアセンター、田浦基督教社会館、横須賀 YMCA、
三浦 YMCA、三浦市民交流センター

(3) 4S クラブ活動支援

【内容】サポートセンターのシニアボランティアグループ「4S クラブ」の事務局として活動を支援した。定例会を開催した（年間の活動についての検討、のたろんフェアの参加についての検討とコグニサイズ体験）。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】8月28日 8名参加

12月1日 12名参加

(4) しらかば子どもの家 ボランティアオリエンテーション

【内容】児童養護施設しらかば子どもの家のボランティアを希望している学生向けのオリエンテーション開催。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】1名

2) 市民活動の「場」の創出

(1) 夏のボランティア・市民活動体験 参加団体報告交流会

【内容】横須賀市内及び近辺で活動する団体の市民活動イベントやボランティア募集情報を紹介して市民の参加を促し、コロナ禍でも活動を続けている団体の支援をした。

7月17日（土）～8月31日（火）

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター 各団体の活動場所

【成果】エントリー団体 18 団体

総参加数：1,945 名（オンラインイベント含む）

(2) のたろんフェア 2022

【内容】横須賀市立市民活動サポートセンターの市民活動紹介フェア。9月に実行委員会を立ち上げ、準備を始めた。オンライン、会場のハイブリッド開催で感染防止を講じながら市民活動の紹介を行った。特に、実行委員会企画としてオンライン運動会を実施し、8家族が参加。初めての試みとして大変好評だった。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター及び周辺

【成果】①実行委員会 月 1 回 11 名

②PR イベント リドレ横須賀にて 4 団体がパフォーマンスを行い PR に努めた。

③のたろんフェア 2022 2 月 12 日、13 日 参加団体 75 団体 来場者 387 名

3) 市民活動団体支援、ボランティア支援活動（基盤強化、活動促進）

(1) 各種セミナー、学習会の開催

①オンラインスキルアップ講習会

【内容】 オンライン会議ツール Zoom の講習会

【場所】 横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】 4回 20名参加

②PIAZZA 説明会

【内容】 青年会議所が横須賀市とともに発信している地域 SNS「PIAZZA」を市民活動団体に活用してもらうために、説明会を開催した。

【場所】 横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】 5名参加

③動画作成講習会

【内容】 動画編集アプリを活用した動画作成講習会を実施

【場所】 横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】 11月21日 6名参加

④NPO 法人立上げ事務説明会 講師

【内容】 市内の障がい者支援団体向けに NPO 法人立上げの事務について学習会の講師を担当した。

【場所】 点字図書館

【成果】 11月25日 6名参加

⑤NPO 法人学習会 開催

【内容】 非営利法人についての学習会。行政書士の岩堀氏を講師に、公益活動団体の法人格について学習した。会場とオンラインのハイブリッド開催。

【場所】 横須賀市産業交流プラザおよびオンライン

【成果】 12月4日 15名参加

(2) 市民協働講習会 開催支援

【内容】 横須賀市市民生活課主催の学習会において、会場とオンラインのハイブリッド開催を技術サポートした。

【場所】 横須賀市産業交流プラザおよびオンライン

【成果】 2月17日 5名参加

4) 地域連携による地域課題、社会課題への対応

(1) 新型コロナウイルス関連支援プロジェクト実行委員会

【内容】 コロナ禍で課題を抱えた子育て世帯を支援する枠組み。

【場所】 横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】 買い物代行プロジェクト:感染者のいる子どもを抱えた世帯が買い物できなくて困っている場合に、買い物を代行する企画。(株)スズキヤの協力を得、買い物ボランティアと配送ボランティアとに役割分担をして安全に買い物代行をする。保健所から対象世帯へプロジェクトの周知を行ってもらい、必要な世帯から事務局へ申し込み支援を行う。待機中も実働なし。メール等で情報交換を行った。

(2) よこすか子育て応援ネットワーク

【内容】 横須賀市内で活動する子育て支援の団体のネットワーク。事務局を務めている。現在 32

団体と個人が登録している。

【場所】生涯学習センターまなびかん 市民ホール、横須賀市立市民活動サポートセンター

- 【成果】①チャイルドラインカード配布 8月25日 24名参加
②横須賀市子どもの権利条約(案)についての学習会を開催 12月25日 10名参加
③NPO 法人打楽器コンサートグループ・あしあとを招き「打楽器コンサート」を開催 2月27日 61名参加
④メーリングリストでの情報共有

(3) よこすか三浦子ども食堂・地域食堂ネットワーク

【内容】三浦半島地域内で活動する子ども食堂・地域食堂のネットワーク。事務局を務めている。現在8団体が登録(フードバンク含む)。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

- 【成果】①メーリングリストでの情報共有(助成金情報、食材提供情報)
②コロナ禍での子ども達を心配した市民から子ども食堂への寄付の申し出が多くあり、ネットワークでお受けして登録団体に配分した。
③コロナ禍での子ども食堂の活動について、行政の支援をお願いする要望書を作成、提出した。

5) 活動支援事業

(1) 夏のボランティア・市民活動体験 参加団体交流会

【内容】夏のボランティア・市民活動体験のエントリー団体が、期間中の活動報告をし、情報交換を行った。緊急事態宣言に伴う公共施設の休館により開催できなかった企画もあったが、中止した団体も交流会に参加し、コロナ禍での活動について意見交換を行った。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】9月17日 16名参加

(2) 市民活動団体支援交流会

【内容】①「コロナ禍での市民活動を考える」をテーマにオンラインと会場のハイブリッドで開催。団体の状況を共有するとともに、これからの展望を話し合った。

②「それぞれの活動から災害支援を考える」をテーマに、オンラインで開催。横須賀災害ボランティアネットワークの事務局の鈴木氏を講師に、市民活動団体が災害時にどのような役割を担ってきたのかを学び、意見交換をした。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】①6月26日 12名参加 10月30日 9名参加
②9月25日 11名参加

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

NPO 法人 YMCA コミュニティサポートが、行政から委託を受けて行う事業、および法人の使命に基づき独自に行う事業。

1) 委託事業

(1) 市民公益活動ポイント制度事業 (横須賀市)

【内容】横須賀市の市民公益活動ポイント制度の事務局を担い、団体申請の受付、管理、ポイント券の発行、寄付の受け渡しなどを行った。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】申請 のべ17団体

(2) 企業・NPO・大学・パートナーシップミーティング 2021 in 横須賀三浦

～災害時における地上或連携の在り方～(神奈川県)

【内容】地域や社会の課題解決に向けて、企業・NPO・大学などの多様な主体が、それぞれの強みを活かして連携し、相互に協力しあえるマッチングの機会を提供する。

【場所】オンライン

【成果】11月27日 30名参加

(3) 災害時の連携を考えるかながわフォーラム

【内容】神奈川県でのフォーラムにて横須賀市立市民活動サポートセンター指定管理者として、災害時連携についての取り組みを紹介

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター(オンライン)

【成果】1月12日 100名参加

2) 地域のYMCAと連携し、以下の事業に取り組んだ。

(1) 情報発信

①YMCA 掲示板の設置

横須賀市立市民活動サポートセンターにてYMCA 掲示板を設け、情報発信をした。

三浦市民交流センターの情報コーナーにYMCA のチラシ、パンフレットを設置して情報発信を行った。

②よこすか子育て応援ネットワークのメーリングリストでYMCA の保育園などで行われた子育てセミナーの情報発信を行った。

③各拠点の紹介

県立保健福祉大学「ボランティア・市民活動論」オンライン授業で田浦基督教社会館、横須賀YMCA、三浦YMCA、横須賀市立市民活動サポートセンター、三浦交流センターの紹介を行った。

(2) チャリティーラン

チャリティマスクの販売を行った。

(3) ピンクシャツデー

・毎月最終水曜日に勤務しているスタッフがピンクシャツを着ていじめ反対のメッセージを発信した。

・2月はピンクシャツデー月間として、横須賀市立市民活動サポートセンターののたろんフェアにてブースを出展、啓発に努めた。また、活動紹介コーナーにおいて展示を行い、いじめ反対のメッセージを発信した。

(4) 国際・地域協力募金

・横須賀市立市民活動サポートセンターの活動紹介コーナーを活用し、国際・地域協力募

金の活動についてPRしながら募金とパヤオクラフトのチャリティ販売を行った。

(5) 平和・ユースエンパワメント等

- ・国際・地域協力募金の活動紹介の中で、「平和の木」の取り組みを行い、スタッフや来館者が書いた平和のハトのメッセージを掲出し、平和への思いを新たにした。

(6) 東日本大震災復興支援

①のたろん復興応援団の取り組み

【内容】南三陸の現状を知る講演会を開催。

講師：南三陸ホテル観洋 第一営業課長 伊藤俊氏

【場所】オンライン

②復興応援学習会の開催

【内容】横須賀市内で継続して被災地支援に取り組んでいる団体の活動を紹介する講演会を開催した。

講師：佐藤昌久氏（NPO 法人元気ハツラツ明るいまちづくり 理事長）

【場所】横須賀市産業交流プラザ 及び オンライン

【成果】参加者：15名

③活動紹介展示

【内容】横須賀市立市民活動サポートセンターの登録団体で、被災地支援を継続している団体の活動紹介。サポートセンター内活動紹介コーナーで、ポスター展示を行った。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】紹介団体：11団体

④街頭募金

【内容】復興応援学習会の参加者を中心に、募金活動を行った。

【場所】汐入駅前

【成果】参加者：5名 募金額：20,460円

3) 横須賀市立市民活動サポートセンターの指定管理者更新

指定管理更新の審査があり、申請、プレゼンを行い、次期指定管理者に指定された。

10月8日 プレゼンテーション

10月22日 選考委員会

12月議会 指定管理者決定

4) 横須賀市立市民活動サポートセンターの管理に係る監査

横須賀市立市民活動サポートセンターの指定管理者として、横須賀市監査課の監査を受けた。監査結果は良好で、2つの指摘を受けたが対応し、報告を終了している。

以上